

## 平成 22 年度事業報告書

### [ 1 ] 政策研究

昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

月 / 日	講師名	役 職	テ ー マ
22. 5. 27	松 谷 明 彦	政策研究大学院大学 教 授	人口減少下の日本経済
11. 9	佐 久 間 隆	内閣府経済社会総合研究 所総括政策研究官	公共サービス改革の動きと展望
23. 2. 8	下 村 博 文	衆議院 議 員	日本創生の処方箋

施設見学研修を下記の通り開催した。

①	期 日	平成 22 年 6 月 26 日 (土)
	視察、訪問先等	陸上自衛隊富士学校機甲科部
②	期 日	平成 22 年 8 月 27 (金) ~28 日 (土)
	視察、訪問先等	陸上自衛隊富士総合火力展示演習
③	期 日	平成 22 年 10 月 29 日 (金) ~30 日 (日)
	視察、訪問先等	東日本高速道路(株)夕張地区工事現場、夕張市、東日本電信電話(株)北海道支社
④	期 日	平成 23 年 1 月 21 日 (金)
	視察、訪問先等	JFE スチール東日本製鉄所 (扇島)、東京ガス扇島工場
⑤	期 日	平成 23 年 2 月 4 日 (金) ~5 日 (土)
	視察、訪問先等	東京電力 柏崎刈羽原子力発電所
⑤	期 日	平成 23 年 3 月 11 日 (金) ~12 日 (土)
	視察、訪問先等	海上自衛隊第 5 航空群、米軍普天間基地、ANA 那覇空港貨物基地、県庁幹部による講話 (沖縄経済振興について)

### [ 2 ] 研修セミナー (フォーラム' 80)

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象に  
として、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継  
者を育成することを目的とした研修セミナー (フォーラム' 80) を実施した。

#### (1) 開講状況 (平成 21 年度からの継続を含む)

第 63 期 : 開講日 ..... 平成 21 年 12 月 3 日  
終講日 ..... 平成 22 年 10 月 21 日

※ 修了後、第 63 期生会を結成し、定例研究会その他自主活  
動を行なっている。

第 64 期 : 開講日 ..... 平成 22 年 5 月 18 日  
終講日 ..... 平成 23 年 3 月 1 日

※ 修了後、第 64 期生会を結成し、定例研究会その他自主活  
動を行なっている。

第 65 期 : 開講日 ..... 平成 22 年 12 月 2 日  
※ 現在受講中

## (2) 講師・テーマ一覧 (本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略)

## &lt;第63期&gt;

月/日	講師名	役職	テーマ
22.4.8	土野 繁 樹	国際ジャーナリスト	欧州から見た米中関係
4.15	森 信 茂 樹	中央大学 大学院 教授	我が国経済社会の活性化のための税制改革
4.22	森 亮 二	地域政策研究所 理事	政権交代と地方のあり方
5.13	今 西 光 男	元朝日新聞社 総合研究本部 主任研究員	メディアはなぜ危機にあるのか
5.20	吉 武 博 通	筑波大学 大学院 研究センター長	大学改革の現状と課題
6.3	佐々木 秀 幸	日本陸上競技連盟 名誉副会長	最近のスポーツ界について
6.10	野 田 健太郎	日本経済研究所 調査第一部長	防災マネジメントによる企業価値向上に向けて
6.17	呉 忠 根	群馬県立女子大学 非常勤講師	朝鮮半島情勢
6.22	加 地 伸 行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
7.1	田 宮 英 和	三井物産 (株) 生活産業事業管理室長	企業経営におけるリスクと管理ー新たな統合リスク管理手法ー
7.8	中 島 英 也	(株) CSK サービスウェア 執行役員	D-SATリダクション (不満の削減) について
7.13	美 甘 哲 秀	丸紅経済研究所 所 長	日本の食料を取り巻く環境
7.20	小 林 英 夫	早稲田大学大学院 教 授	日本の近代化と東アジアー中国 (特に東北部) と韓国を俎上にー
9.9	後 藤 正 彦	(株) 博 報 堂 CC 局長	企業のリスクコミュニケーション
9.30	増 田 英 樹	(株) バリデックス 代表取締役社長	階級のない中国の格差
10.7	荒 木 光 弥	(株)国際開発ジャーナル 代表取締役社長	国家戦略から見たにほんの ODA (仮)
10.14	楠 美 憲 章	中央大学 客員教授	これからの企業経営にもとめられるもの
10.21	終 講 式		

## &lt;第64期&gt;

月/日	講師名	役職	テーマ
22.5.19	開 講 式		
5.25	岩 田 清 文	防衛省 陸上幕僚監部人事部長	国際情勢と日本の防衛
6.1	大 来 洋 一	政策研究大学院大学 客員教授	日本経済の現状と長期的課題

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
6. 8	野 口 秀 行	ノースアジア大学 特任教授	民主党政権下の日本
6. 15	渥 美 堅 持	東京国際大学 名誉教授	イスラーム文化－歴史、宗教、政治、 社会－
6. 22	加 地 伸 行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
7. 6	篠 田 邦 彦	経済産業省 資金協力課長	インフラ関連産業の海外展開に向け て
7. 13	美 甘 哲 秀	丸紅経済研究所 所 長	日本の食料を取り巻く環境
7. 20	小 林 英 夫	早稲田大学大学院 教 授	日本の近代化と東アジア－中国（特 に東北部）と韓国を組上に－
9. 7	森 亮 二	NPO 法人地域政策研究所 理 事	政権交代と地方のあり方
9. 30	増 田 英 樹	(株) バリデックス 代表取締役社長	階級のない中国の格差
10. 5	吉 羽 治	(株) 講談社 ライツ事業局長	「電子書籍元年」と出版業界
10. 12	渡 邊 圭 二	全日本空輸 (株) 東京空港支店 貨物郵便部長	新次元物流 ANA モデル
10. 19	西 岡 力	東京基督教大学 教 授	拉致問題をはじめとする朝鮮半島情 勢
10. 26	土 野 繁 樹	国際ジャーナリスト	ヨーロッパから見た日本
11. 2	朱 建 栄	東洋学園大学 教 授	胡錦濤政権と今後の中国
11. 16	今 西 光 男	ジャーナリスト	メディアはなぜ危機にあるのか
11. 30	鈴 木 昌 治	有限責任監査法人トーマツ パートナー	公認会計士業界の現状と課題
12. 7	吉 武 博 通	筑波大学 教 授	大学改革の現状と課題
12. 14	櫻 井 佳 子	JAL アカデミー インストラクター	ビジネスチャンスを広げるパーティ ーマナー術
12. 21	齋 藤 善 久	獨協大学 講 師	発想力とコミュニケーション力
23. 1. 18	吉 田 恵 一	東京電力(株) 秘書部マネージャー	エネルギー情勢と電気事業を巡る諸 課題
1. 25	柚 谷 晴 久	富士フィルム (株) 法務部 担当課長	2010 年日本 APEC とその舞台裏
2. 1	朝比奈 一 郎	(株) 青山社中 筆頭代表 CEO	新しい霞ヶ関を創る若手の会 (プロジェク K) のこれまで、青山社中の目指すのも
2. 15	中 島 英 也	(株) CSK サービスウェア 執行役員	D-SAT リダクション (不満の消滅) に ついて
2. 22	孫 崎 享	前 防衛大学校 教授	国際情勢の変化と日本の安全保障
3. 1	終 講 式		

<第 65 期>

月/日	講 師 名	役 職	テ ー マ
22.12.2	開 講 式		
12. 9	大 来 洋 一	政策研究大学院大学 客員教授 (弊会常任理事)	日本経済を現状と長期的課題
12.16	番 匠 幸一郎	防衛省 陸上幕僚監部 防衛部長	国際情勢の変化と日本の防衛
23.1.18	吉 田 恵 一	東京電力 (株) 秘書部マネージャー	エネルギー情勢と電気事業をめぐる 諸問題
1.27	渥 美 堅 持	東京国際大学 名誉教授	イスラーム文化-歴史、宗教、政治、 社会-
2. 1	朝 比 奈一郎	(株)青山社中 筆頭代表 CEO	新しい霞ヶ関を作る若手の会 (プロジェクト K) のこれまで、青山社中が目指すもの
2.17	呉 忠 根	群馬県立女子大学 非常勤講師	朝鮮半島情勢について
2.24	野 口 秀 行	ノースアジア大学 特任教授	勃興する VISTA-新たな世界経済のリ ード役-
3. 3	森 亮 二	元流山市議員	政権交代と地方のあり方
3.10	野田 健太郎	日本経済研究所 調査第一部長	防災マネジメントによる企業価値向 上に向けて

※3月17日並びに3月24日の講義は東日本大震災のため年度内実施を見送り次年度へ延期。

(3) 見学会・合宿・その他活動

①	期 日	平成 22 年 4 月 21 日 (水)
	視察、訪問先等	東日本高速道路(株)岩槻管制センター、パサール幕張、アクアライン (海ほたる、風の塔)
②	期 日	平成 22 年 5 月 21 日 (金)
	視察、訪問先等	NTT DOCOMO R&D センター
③	期 日	平成 21 年 7 月 10 日 (金)
	視察、訪問先等	日本電信電話 武蔵野研究開発センタ

【3】 国際交流

平成 22 年 9 月第 31 回海外研修団を組織し、総勢 26 名で韓国、中国を訪問した。概要は次の通り。

① 期 間	平成 21 年 9 月 14 日～9 月 22 日	
② 団 長	恩 田 宗 氏	(社)総合研究フォーラム 常任理事
③ グループリーダー	稲 川 尚 之 氏	株式会社 NTT ドコモ
同 上	藤 本 佳 孝 氏	中日本高速道路 株式会社
同 上	石 丸 雄 次 氏	三井物産 株式会社
同 上	須 貝 浩 二 氏	株式会社 協和エクシオ

④ 報告書編集長	鈴木 紳 悦 氏	総合警備保障 株式会社
同上	小 谷 潤 氏	東京ガス 株式会社
編集委員	菊 地 秀 和 氏	東日本高速道路 株式会社
同上	長 満 崇 氏	株式会社 日本政策金融公庫
同上	向 後 浩 氏	東京電力 株式会社
同上	鈴木 直 也 氏	新日本製鐵 株式会社
同上	水 野 達 哉 氏	新日本製鐵 株式会社
⑤ 主な訪問地	ソウル（韓国）、大連、瀋陽、哈爾浜、北京（以上中国）	
⑥ 訪問地別主要行事（肩書きなどは当時）		
東 京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井川原日中経済室首席事務官、佐藤北東アジア課事務官講話</li> <li>・恩田団長講話</li> </ul>	
ソ ウ ル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武藤大使講話</li> <li>・辻韓国横河電機代表理事講話</li> <li>・現代自動車牙山工場訪問/見学</li> </ul>	
大 連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠山大連出張駐在官事務所長講話</li> <li>・大連トステム建材訪問/見学</li> <li>・郭大連ハイテクパーク管理委員会副主任ほか講話/見学</li> </ul>	
瀋 陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本総領事講話</li> <li>・張経済技術開発区委員会常務副主任ほか講話</li> <li>・瀋陽机床グループ訪問/見学</li> <li>・瀋陽航天三菱汽車発動機製造訪問/見学</li> </ul>	
哈 爾 浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外視察（731部隊記念館ほか）</li> </ul>	
北 京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹羽大使講話</li> <li>・進藤日本商会事務局長講話</li> <li>・松野清華大学野村総研中国研究センター理事講話</li> <li>・団長、団員による研修総括発表</li> </ul>	